

## 1. 調査目的等

### <調査目的>

全国の児童養護施設や里親家庭等で起きている、特に子ども間で発生する性的な問題の実態把握を中心に調査を行い問題の発生予防に資することを目的として実施。

### <対象とした性的問題>

直接的な身体接触、非接触、具体的行為や被害内容が不明のままの疑い事案、加害－被害の関係ははっきりしないが、何らかの指導を要すると判断された事例までを含める。

## 2 - ① 社会的養護関係施設調査結果（回収率73.5%）

平成29年度に施設で生じた子ども間の問題のうち、性的な問題がみられた事例について

### ■ 把握した問題の施設別件数及び性的な問題の当事者となった子どもの人数（実人数ベース）

施設種別	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	自立援助ホーム	母子生活支援施設	合計
件数	544件	60件	46件	15件	22件	687件
人数	1005人	117人	77人	20人	61人	1280人
回答数	445施設	37施設	50施設	83施設	148施設	763施設

## 2 - ② 一時保護所調査結果（回収率78.8%）

平成29年度に一時保護所で生じた子ども間の問題のうち、性的な問題がみられた事例について

### ■ 把握した問題の件数及び性的な問題の当事者となった子どもの人数（実人数ベース）

	件数	性的な問題の当事者となった子どもの数	回答数
一時保護所	34件	74人	108か所

## 2-③ 児童相談所調査結果（回収率76.4%）

平成29年度に里親・ファミリーホームで生じた子ども間の問題のうち、性的な問題がみられた事例について

### ■ 把握した問題の件数

里親・ファミリーホーム（児童相談所が把握した件数：回答数162カ所）	
管内の里親で生じた性的な問題を把握した件数	7件
管内のファミリーホームで生じた性的な問題を把握した件数	4件

### ■ 性的な問題の当事者となった子どもの人数（実人数ベース）

	里親	ファミリーホーム
人 数	10人	7人

## 2-④ 自治体調査結果（回収率100%）

### ■ 平成29年度に、自治体内で子ども間で生じる問題を把握した件数及び当該問題に関わった子どもの実人数

子ども間で生じる問題の件数（有効回答数：66）	408件	
うち、問題等の内容別の件数（複数の問題が含まれる場合は両方に計上）	A.性的な問題が含まれる件数	250件
	B.暴力の問題が含まれる件数	133件
	C.心理的な問題、いじめが含まれる件数	30件

子ども間で生じる問題に関わった子どもの実人数（有効回答数：61）	983人	
うち、問題等の内容別の実人数（複数の問題が含まれる場合は両方に計上）	A.性的な問題が含まれる問題に関わった実人数	649人
	B.暴力の問題が含まれる問題に関わった実人数	281人
	C.心理的な問題、いじめが含まれる問題に関わった実人数	76人

## 3. 今後の取組

社会的養護の受け皿のどの種別においても把握されているという実態が明らかになったことを踏まえ、子ども達が信頼できる大人や仲間の中で安心して生活を送ることができるように、以下の取組を進める。

### ① 個々の現場で取り組めるマニュアル・チェックリスト等の作成

- 本調査研究で得られたデータを活用し、問題発生時の状況、施設の取組内容、個々の子どもの状況や特性が、問題の把握件数とどのような関連性や影響があるか、分析等を行う。
- その上で、問題発生の際の潜在的リスクの予測や実効的な予防策等、個々の現場で取り組めるマニュアルやチェックリスト等の成果物を作成する。

### ② 施策の推進

- 一人ひとりの子どものニーズに応じた個別的ケアを適切に進めていくために、施設の小規模かつ地域分散化や里親委託の推進といった「家庭養育優先の原則」を、体制の整備や専門性の向上とともに実現していく。